

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2015年 7月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2015年 7月1日発行 通巻267(毎月1回発行)

千葉県連盟創立50周年記念事業

みんなで登ろう 房総の山50選

7月号目次

・ 目次	2
・ 6月理事会報告	3
・ 会・クラブ紹介 「千葉こまくさHC」	4
・ 「バリ島サンライズトレッキング」下見報告	5
・ 「バリ島サンライズトレッキングお誘い」訂正版	8
・ みんなで登ろう・房総の山50選	9
・ クリーンハイク報告	10
・ 初級登山講習報告	11
・ ワンコイン講習会報告	12
・ ゆう便り・NO—13	13
・ ゆう支援活動報告「南相馬市」	15
・ 県連便り	17
・ 7月・8月予定表	18

千葉こまくさハイキングクラブ 紹介

全国に、100人以上の会・クラブは35会あり、千葉県連には2会あります。千葉こまくさハイキングクラブは127名（2015年度）で運営されています。会活動は、ハイキングが中心です。

この会の特徴は、山行管理がランク制で運営されてことです。

100人を超える大所帯での、ランク制の運営は大変な労力と会員個々の協力が絶対条件かと思えます。会運営もランク制の実施があつての事かも知れません。山行管理で、問題を抱えている会は、ランク制を検討する事も必要かと思えます。

2015年6月度理事会報告

■開催日時:6月18日(木)19:00～

■開催場所:船橋市西部公民館

■出席:ちば山、茂原、船山、松戸、ふわく、こまくさ、東葛、シリウス、かがりび、あびこ、民医連、岳樺、自然保護、ハイキング、教遭、ふれあい、会長、理事長、副理事長、会計(山翠会理事兼任)、以上20名

■配布資料

- ・房総の山50選(最終版)
- ・バリ島サンライズ・トレッキングへのお誘い
- ・第16回ふれあいハイク下見資料
- ・2015安全登山ハンドブック

■議題

1. 委員会・救助隊報告

*教育遭難対策委員会(岡田賢)

・6/6,7 初級登山教室10会43名参加(講師含む)

- ・昨年の反省点の上に改善された
- ・まとめをちばニュースに掲載予定

*ハイキング委員会(桑原)

・7/23 吉尾氏追悼山行、25名の申込み。さらに募集をかける

・房総の山50選に協力していく

*自然保護(菅井)

- ・鬼泪山5/31 クリーンハイク 30名参加
- ・予想していたよりゴミは多かった(155kg回収)

*女性委員会(広木)

・6/21 ワンコイン講習 参加申込みは20名ほどで低調、男性陣の参加を期待したい

*HP(広木)

・加盟会紹介ページがかなり古いので更新要→原稿を広木まで

・「フォトギャラリー」「山を楽しむ」コーナーへの写真・原稿募集中

2. ふれあいハイキング(岡田正)

・6/20に下見をするが、山の会より4名参加と少なく応援要

3. 50周年関連(広木)

1)バリ島募集開始したが応募が低調→行動予定がハードな為と思われるので計画を見直す

2)房総の山50選決定した

- ・登り始めは10月頃より
- ・ちばニュース7月号にスケジュール案を掲載予定

4. 災害支援(吉田、広木)

- ・今月は20,21日で南相馬・小高区、14名の参加予定
- ・全国連盟からの高速代の補助は被災地の視察等でも出るのでは、ゆうの活動に関わらず会でも計画して欲しい

5. その他

- ・ネパール募金6/18現在16万円ほど
- ・安全登山ハンドブック、必要部数を広木会長まで連絡のこと
- ・松戸山の会新理事丸山氏

■今後の理事会日程について

・7月16日(木) 場所:西部公民館
時間:19時より

・8月は役員会・理事会とも休会

『千葉こまくさハイキングクラブ』紹介

会長 古瀬 健

[会の生い立ち]

1982年、当時全国的に中高年のハイキング志向が高まり、労山の中に中高年のハイキングクラブが誕生し活発な活動をしていたことから、千葉県勤労者山岳連盟の理事会に提案し、理事会から3人の応援を得て、翌年12月に発足しました。発足当初は会員数17名山行は月1回のみでした。たまたま、新聞に会の活動が掲載されたため、一気に会員数が増えたこともあり、以後、着実に増え続けて、今では会員数140名、毎月の山行数は10から15回にもなりました。

[会の特徴]

ハイキングクラブですから、ハイキングが主な分野ですが、夏は3000メートルの山を目指す人がいっぱいです。人数も多く、取り組む内容も広いので、リーダーが参加者の技量について悩まなくて済むように、また、参加者も自分の技量に見合うのかどうかを判断し易いようにと、ランク制をとっています。計画にランクをつけ、それに対応するように会員にもランクを決めます。ランクに煩わされない、ほぼ平地歩きの「花と歴史部」があり、いつまでも会に在籍したくなります。

会創立の節目には、20周年でヨーロッパアルプス、25周年でカナディアンロッキー、30周年には、再びヨーロッパアルプスへのトレッキングが行われました。

[組織運営]

運営委員会の下に総務部、山行部、ランク部、教育研修部、会計部、広報部我あり、事故時には遭難対策部が招集されます。

仕事の種類も内容も多く、役を分担しなければ会運営がうまくいきません。入会してからの役割分担のルール作りも重要で、最近になって整備がされました。

また、発足以来利用している花園公民館の大広間も手狭になり、最近では広い会場を利用することが多くなっています。6月の入会時(11月と合わせ年2回)には10名の新会員が加わり、かなりの若返りが進み、会の前途に光明が見えるようです。

[課題]

やはり何と言っても、会員とリーダー教育です。充実に努めていますが、まだまだで、山行内容の質、量の低下の無いようにするには相当の努力が必要です。



カタクリの里にて



ヨモギ平にて

バリ島サンライズ・トレッキング下見報告

東葛山の会 安彦 秀夫

5月13日(水)～19日(火)＜6泊7日＞に、東葛山の会の10名で、『千葉県連創立50周年記念海外登山：バリ島サンライズ・トレッキング』の下見に行ってきました。数多くの予期せぬ出来事に遭遇しましたが、今回は、その中で、3日間のトレッキングの様子を報告させていただきます。



**バトゥール山山頂より『バトゥール湖』と『アバン山』そして日の出を見ている登山者『アゲン山』は、『アバン山』の真後ろで重なっています。
登山者の手前(左端)に居るのは、同行者です。**

＜1＞ 5月14日(木)バトゥール山トレッキング(2日目)

仮眠も満足に取れないまま、ホテルをチャーターバスにて登山口に向けて出発。前夜、登山ガイドの打合せをした『プランジャティ村登山口』に着くと、物凄い数の人・ひと・ヒト……。国民の祝日で、多くの若者がバトゥール山山頂を目指すようだ。

若い登山ガイド3人、旅行会社の小室会長と日本語ガイドの Mr.ワスパ、そして私達10名の総勢15名で、ヘッドライトの灯りを頼りに歩き出す。山頂で食べる朝食弁当は、登山ガイドがみんなの分を背負ってくれている。楽ちん！

広い緩やかな道を進む。徐々に細くなり、登山道に入る。次第に傾斜もきつくなる。地元の若者のグループが、どんどん私達を追い越していく。日本であれば、『比較的広い所で、先行者に譲ってもらってから追い越す…』のが一般的なのに、バリ島の山では、そんなことはお構いなしのようだ。

見上げれば、ヘッドライトや懐中電灯の灯りが、一列に、黒い山陰の上まで続いている。振り返れば、『バトゥール湖』や『アバン山(2153m)』が黒く見え、かすかに光るキンタマーニ高原の街灯りも望まれる。

『パストップ小屋』、『パサラゲン寺院』と過ぎ、『第一小屋(?)』で休憩する。山頂まで20分ほどということで、同じ休憩をするなら山頂が良いと思い、小屋を出る。しかし、既に登山道は先行者でごった返しており、思うように前に進めない。

やっと山頂の一角に着き、多くの登山者に紛れて、私達もなんとか陣取り、ご来光を待つ。東の空が赤くなり、雲間から太陽が顔を出し、登りの辛かったことを忘れ、南国のご来光に見とれる。その後、窪地で朝食を立ったまま食べる。

『山頂クレーターを一周できるか…?』の問いに、『あなたたち次第です!』と、登山ガイド。多くの先行者の人影が見えるので、私達も一周することにする。あちこちから水蒸気が噴き出しており、ゆで卵を作っている人もいる。

大噴火時の黒々とした溶岩流の痕跡を眼下に見ながら、急なガレ道を慎重に下り、火

口を一周して『パストップ小屋』に戻る。猿の大群が迎えてくれる。洞窟では、僧侶がお祈り中。

休憩後、バトゥール湖とアバン山を正面に眺めながら、滑りやすい道を一気に下る。麓に広がる畑（トマトや唐辛子など）越しにバトゥール山を何度も何度も振り返る。

傾斜もなくなり、のどかな家並みを過ぎ、街中を歩いてホテルに到着。

水着を持って温泉へ。やっぱり下山後の温泉は良いね（温泉と言ってもプールだが）。バトゥール湖畔にあり、のんびりしたい所だ。1時間弱くつろぐ。

バトゥール湖をボートで風葬の村『トルニャン』へ。湖上からのバトゥール山は綺麗だ！昼食後、『ウルン・ダヌ・バトゥール寺院（世界遺産）』を、サロンを着て巡る。

ウブドのホテルに17:15着。部屋割りや明日の予定などを確認し、各部屋に入る。荷物整理もそこそこに、ベッドに横になる。

<2> 5月15日(金)アグン山主峰トレッキング(3日目)

僅か4時間弱の仮眠で、迎えのバスにてホテルを出発。1時間半ほどで『ブサキ寺院』奥の『ペンブカン寺院』駐車場（登山口）に着く。

2名の登山ガイドと小室会長そして私達8名の総勢11名で、歩き出す。

樹林帯の急な登りの連続で風は殆ど無く、ただただ流れる汗を拭き拭き黙々歩く。

前日の疲れと睡眠不足で、皆足取りが鈍い。それとは反対に、登山ガイドの歩きは早い。時々『プランプラン！（ゆっくりゆっくり）』と言っては、待ってもらおう。

樹林帯を抜けると、火山礫の滑りやすい急な登りに変わる。見上げるが、山頂らしきピークは見えず。振り返れば、雲海に『影アグン』がバッチリ！

やっと、『第一ピーク』に到着。アグン山山頂には、朝陽を浴びている数人の先行者がシルエットで見える。更に砂礫の緩やかな尾根道を30分ほど歩いて山頂に。

山頂からの展望は、絶景そのもの！昨日登ったバトゥール山を下に見る。ロンボク島の『リンジャニ山(3726m)』も雲海の上に頭を出し、振り返れば、ジャワ島の山々も遠くに望まれる。狭い山頂は我々のみで、無事登頂の満足感に皆の声が弾む。荒々しい火口を恐る恐る覗き見る。朝食を摂るが、パサパサしたパンで喉を通らない。

登ってきた道を下り、岩陰でガイドが準備してくれたバリコーヒーを飲む。しかし、粉っぽく、決して旨いと言えるものではない。皆同じ感想だったようだ。

下山後、ライステラス（棚田）を眺めながら昼食を摂り、ホテルへ戻る。

『バリ島最高峰登頂に満足。南峰は遠慮する』ということで、挑戦者は5名に減少。朝食弁当を『ナシゴレン』に変更依頼し、街中で両替した後、やっと横になれた。

<3> 5月16日(土)アグン山南峰トレッキング(4日目)

連日の睡眠不足の中、バスに1時間半ほど揺られて『パサール・アグン寺院』下の駐車場（登山口）へ。前日と同じ登山ガイド2名と私達5名の総勢7名で石段を登る。寝不足と疲れた身体には辛い。

やっと辿り着いた寺院でガイドが安全祈願のお祈りをした後、寺院の裏に回って登山道に入る。樹林帯の中をヘッドライトの灯りを頼りに歩く。

登山道に沿って、太い配管が埋設されており、『なんだろうなあ〜』と気になる。

いつの間にか樹林帯を抜け、急峻な岩場となり、休憩頻度が多くなる。次第に明るくなり、雲海が見事だ！大きな岩だらけの山頂にやっと到着。

東の空が赤くなり、待ちに待ったご来光だ！しかし、大きな尖った岩の後ろからで、感激も半減…？ 今日もしリンジャニ山が望まれる。荒々しい火口を挟んで、昨日登った最高峰が、朝陽を浴びて赤くなる。2日連続してアグン山主峰と南峰を登ったことに、他の登山ガイドも驚きというか、呆れ顔のようだ。

特注の『ナシゴレン』を食べ、登山ガイドが準備してくれたコーヒーを頂く。『旨い！』昨日とは違う。カップの底に沈んだ粉分を飲まなければ良いのだ。

岩場を下る。暗い中を登ってきたので気が付かなかったが、凸凹が多い火山岩の岩場の連続で、滑らないように慎重に下る。不思議に思った『配管』は、簡易ダムからの水道管で、今は乾期で、ダムには水一滴もなかった。

下山後、アグン山とライステラスを眺めながら、そして、3日間の登山の余韻に浸りながら、『ビンタンビール』のジョッキを傾けた。

ホテルに戻り、一休みした後、10名全員で、ホテル隣のレストランでインドネシア料理を味わった。

<4>コースタイム

- ・バトゥール山：(登山口 1,073m、山頂 1,717m、標高差 644m)
登山口 3:30…パストップ小屋 3:55…パサラグン寺院 4:35…第一小屋 5:20-5:35…
山頂 6:00-6:45…<御鉢巡り>…パストップ小屋 7:40-7:55…ホテル 9:30
- ・アグン山主峰：(登山口 928m、山頂 3,142m、標高差 2,214m)
登山口 23:40…水場標識 2:35…コリアグン寺院 4:50…第1サミット 6:30…
山頂 7:00-7:40…コリアグン寺院 9:20…水場標識 10:20…登山口 12:55
- ・アグン山南峰：(登山口 1,500m、山頂 2,900m、標高差 1,400m)
登山口 1:15…パサール・アグン寺院 1:20…南峰 6:10-7:10…簡易ダム 9:50…
パサール・アグン寺院 11:00…登山口 11:10



3日目：左後方ピークは「アグン山第1ピーク」
後方中央三角山は「バトゥール山」



4日目：パサール・アグン寺院より
後方、三角ピークはアグン山最高峰
右方、アグン山南峰

「バリ島サンライズ・トレッキング」下見報告

現地状況、特に登山情報が少ないので、下見での情報収集が出来たことは助かりました。東葛山の会の皆さんに感謝します。

最初の案内内容(日程)では、ハードルが高く感じている人もいます。下見の結果を踏まえて、実行委員会で再検討をしたいと思います。最初の案よりは若干、楽になると思います。決めかねている方は、安彦さんか広木まで相談下さい。バトゥール山のみであれば、どなたでも参加できると考えています。しかし、それでは物足りなさを感じるかとも思います。

そこで、2山(バリ島最高峰と第2高峰)を加える案を、検討しています。また、既に申込みをされている人の中に、バトゥール山のみで充分…という人もいます。このような考えから、『改訂版』を作成しました。

募集人数には、若干余裕があります。「お誘い」を参考に、ご検討をお願いします。質問・問い合わせをお待ちしています。(気軽にどうぞ！)

バリ島サンライズ・トレッキングへのお誘い(改訂版)

3日目と5日目に『フリータイム』を新たに設定！ 登山もよし、観光もよし、そして、のんびりもよし。
 トレッキングの様子は、下見報告(ちばニュース7月号)を参照！
 既に、参加申込みをしている方でも変更希望の方は、至急ご連絡下さい。

2015/6/21/Sun.

千葉県勤労者山岳連盟創立50周年記念事業実行委員会

『バリ島に山があるの…?!』、『千葉県に山があるの…?!』という
 共通の先入観(?)を抱いているハイカーが多いのではないのでしょうか？
 『赤道直下の山々と名所旧跡・世界遺産』等を、県連の仲間と一緒に体感しましょう！

- <期 日> 2015年 10月14日(水)～20日(火) <6泊7日> ホテル5泊、飛行機1泊
 または、10月14日(水)～19日(月) <5泊6日> ホテル4泊、飛行機1泊
- <トレッキング> インドネシア バリ島 (歩行時間:休憩含む)
 ① バトゥール山 (1717m) バトゥール湖畔に温泉あり 約6時間
 ②-1 アグン山主峰(3142m) バリ島最高峰 ブサキ寺院コース 約13時間
 ②-2 アグン山南峰(2900m) パサールアグン寺院コース 約10時間
 ③ バトゥカル山 (2276m) バリ島第2高峰 約10時間/下見なし
- <募集人数> 30名 (原則先着順)
 ※登山道は土埃・火山灰が舞います。呼吸器系に問題のある方は考慮願います。
- <費用> 約20万円: 航空券往復、燃油サーチャージ、ホテル5泊(朝食込)、送迎バス、
 チャーターバス(日本語ガイド)、登山ガイド(英語)、一部食事○印、一部観光入場料等
- <申込方法> 詳細は、『ちばニュース6月号』参照 先ずは、問合せ先へご一報ください。
- <申込締切> 2015年7月12日(日) ※7月下旬に旅行会社に正式依頼します。
- <結団式・説明会> 2015年9月初旬～中旬に、『船橋市西部公民館』(予定)にて開催します。
 その際に、『旅行費用(残金)』を徴収します。
- <問合せ・申込先> 安彦秀夫(あひこひでお) 東葛山の会
 E-メール: mt25hm4abichan49@gmail.com
 携帯電話: 090-5827-0571

トレッキング(登り)は、深夜から
 明け方までの登り一方のルートで
 ヘッドライトは必携です。

<日 程> 参加者決定後、改めて現地旅行会社と調整します。(時刻は予定です。) <食事>

日 時	行 程 (→:飛行機、⇒:チャーターバス、…:歩行)	宿泊地	朝/昼/夕
①10/14(水) 移動	8:30 成田空港第1旅客ターミナル4階北ウイング ガルーダ・インドネシア航空Fカウンター付近集合 成田空港発11:00(GA881) → → デンパサール空港17:25着 <通関> ⇒ (送迎バス:約3時間) ⇒ ホテル (仮眠)	バトゥール湖 畔	-/機/×
②10/15(木) バトゥール山登山 <全員で登頂>	ホテル発3:00⇒プランジャティ村登山口発3:30…バトゥール山頂着6:00… (日の出観賞/朝食)…火口一周(約1時間)…トヤブンカ村/ホテル着9:30… …休憩/温泉プール⇒昼食/湖畔のレストラン⇒ホテル (仮眠)	バトゥール湖 畔	弁/○/×
③10/16(金) アグン山登山 (主峰または南峰) <コース選択制>	ホテル発前日21:30⇒ブサキ寺院着23:00/登山口発23:15…第1ピーク6:00 …アグン山主峰着6:20(日の出観賞/朝食)下山開始7:00… …ブサキ寺院着12:00⇒昼食⇒ホテル ホテル発前日23:30⇒パサールアグン寺院着1:00/登山口発1:15… …アグン山南峰着6:15(日の出観賞/朝食)下山開始7:15… …パサールアグン寺院着11:00⇒昼食⇒ホテル <フリータイム>	ウブド バリ舞踏 観賞①	弁/○/×
④10/17(土)	<フリータイム> できれば全員で次のコースを観光したいと考えています。 ホテル発8:30⇒ウルン・ダヌ・プラタン寺院/プラタン湖⇒ギギツの滝⇒ ⇒テガララン(棚田観賞/昼食)⇒ホテル (仮眠)	ウブド	ホ/△/×
⑤10/18(日) バトゥカル山登山 <6泊7日コースのみ>	ホテル発前日23:30⇒バトゥカル寺院着1:00/登山口発1:15… …バトゥカル山頂着6:30(日の出観賞/朝食)下山開始7:30… …バトゥカル寺院着11:30⇒昼食⇒ホテル <フリータイム>	ウブド バリ舞踏 観賞②	弁/○/×
⑥10/19(月)	ホテル発8:30⇒タマン・アユン寺院⇒ジャティルウィ(棚田観賞/昼食)⇒ ⇒タナロット寺院(夕日観賞)⇒夕食⇒デンパサール空港<チェックイン>	飛行機	ホ/○/○
⑦10/20(火) 移動(帰国)	デンパサール空港発0:25(GA880) → → 成田空港着8:25 通関後解散	---	機/-/-

- i. 『5泊6日コース』は、⑤バトゥカル山登山が無くて、①②③④⑥⑦の日程で1日早く(10/19)帰国します。
- ii. 食事 弁:弁当、ホ:ホテルレストラン、機:機内食、○・△:外部レストランでの昼食・夕食、×:各自払い
- iii. 山頂で日の出を迎えるように深夜ホテル発です。午後は、天候が崩れるので午前中に下山します。
- iv. バリ舞踏鑑賞チャンス(19:00頃開演)を2回設定しています。当日に演目及び場所を確認します。

標高 順	山名	山名ヨミ	標高 m	場 所	地形図名 1/25,000	三角点△ 標高点・	地形図に 山名有無	備 考 「」は地形図の山名
1	愛宕山	アタゴヤマ	408	安房鴨川駅西10km	金束	△	○	自衛隊基地、許可必要
2	鹿野山	カノウサン	379	佐貫町駅東9km	鹿野山	・	○	ゴルフ場、白鳥神社
3	清澄妙見山	キヨシミョウケンサン	377	安房天津駅北4km	安房小湊	・	○	「妙見山」、神社
4	二ツ山	フタツヤマ	376	安房鴨川駅西11km	金束	・	○	愛宕山近く
5	安房高山	アワタカヤマ	365	安房鴨川駅北西9km	鴨川	△	×	請雨山近く
6	御殿山	ゴテンヤマ	364	南三原駅北北西8km	金束	△	○	伊予ヶ岳・富山近く
7	富山	トミサン	349	岩井駅東北東3km	金束	△	○	三角点は北峰
8	石尊山	セキソンサン	348	上総亀山駅東南東6km	上総中野	△	○	七里川温泉から登る
9	山ノ神	ヤマノカミ	348	安房鴨川駅西北西12km	金束	△	×	横尾林道
10	元清澄山	モトキヨシミヤマ	344	上総亀山駅南6km	坂畑	△	○	保台ダムか郷台林道から登る
11	八良塚	ハチロウツカ	342	上総亀山駅南西9km	坂畑	・	○	高宕山の続き
12	御嶽山	オンタケサン	341	上総中野駅南西5km	上総中野	・	○	麻綿原林道、クダケ山
13	伊予ヶ岳	イヨガタケ	336	岩井駅東北東6km	金束	△	○	三角点は北峰
14	嶺岡浅間	ミネオカセンケン	335	安房鴨川駅西7km	鴨川	1等△	○	神社
15	大日山	ダイニチヤマ	333	南三原駅北北西7km	安房古川	△	○	御殿山近く
16	高宕山	タカゴヤマ	330	上総亀山駅西南西10km	鬼泪山	・	○	315m三角点は別
17	三郡山	ミヨオリヤマ	330	安房鴨川駅西北西11km	金束	×	×	3郡(天羽・君津・安房)の境界
18	鋸山	ノコギリヤマ	329	浜金谷駅南東2km	保田	1等△	○	浜金谷から登る
19	高鶴山	タカツルサン	326	太海駅西北西6km	鴨川	・	○	上神社から登る
20	津森山	ツモリヤマ	320	保田駅東9km	金束	×	○	をくずれ水仙ロード
21	嗟峨山	サガヤマ	315	保田駅東北東4.5km	金束	△	×	水仙ビークの隣
22	経塚山	キョウツカヤマ	311	南三原駅北6km	安房古川	△	○	踏跡あり
23	人骨山	ヒトホネヤマ	292	保田駅東8km	金束	△	○	津森山近く
24	大福山	ダイフクヤマ	292	養老溪谷駅西南西3km	久留里	・	○	梅ヶ瀬溪谷から登る
25	上総富士	カスサヅ	285	上総松丘駅西北西2.5km	久留里	・	○	「富士山」、ゴルフ場神社
26	豊岡愛宕山	トヨオカアタゴヤマ	283	上総湊駅南東9km	鬼泪山	・	○	「愛宕山」、富津市民の森
27	三石山	ミツイシヤマ	282	上総亀山駅南2.5km	坂畑	・	○	三石観音寺
28	大塚山	オオツカヤマ	280	上総亀山駅西南西4km	坂畑	△	○	松丘大塚山
29	度祇巖山	トビイロヤマ	278	安房鴨川駅北北東4km	鴨川	△	×	痔(モウケ)神社より登る
30	御所塚山	ゴシヨツカヤマ	271	飯給駅西南西3km	久留里	1等△	×	山砂採掘場の上
31	鬼泪山	キナダヤマ	268	佐貫町駅東南東5km	鬼泪山	△	○	320m三角点はマザー牧場内
32	野々塚	ノツカ	268	上総興津駅北北西5km	上総中野	1等△	○	上総中野から県道177号
33	烏場山	カラスバヤマ	266	和田浦駅北4km	安房和田	△	○	花嫁街道
34	殿中山	テンチュウサン	263	総元駅南西3km	上総中野	・	○	金網、竹林
35	津辺野山	ツベノヤマ	259	安房勝山駅東3km	保田	△	○	踏跡あり
36	伊藤大山	イトウオヤマ	246	大多喜駅西4km	大多喜	△	○	頂にアンテナあり
37	三条大塚山	サンジョウオオツカヤマ	241	西畑駅南1.5km	上総中野	△	×	自然公園万葉の道
38	浅間山	アサマヤマ	225	大多喜駅西北西3km	大多喜	・	○	踏跡あり
39	高塚山	タカツカヤマ	216	千倉駅南南西4.5km	千倉	・	○	1等三角点は別
40	水室山	ミムロヤマ	215	上総湊駅東南東5km	鬼泪山	△	○	志駒から登る、ゴルフ場の東
41	鴨川富士	カモガワフジ	209	安房鴨川駅北北西3km	鴨川	△	×	打墨から登る
42	金比羅山	コンピラサン	208	九重駅北6km	安房古川	△	○	海老敷から登る
43	関大塚山	セキオオツカヤマ	199	上総湊駅東南東8km	鬼泪山	△	○	「大塚山」、踏跡あり
44	房の大山	ホウノオヤマ	193	館山駅西南西8km	館山	1等△	○	「大山」
45	久留里愛宕山	クルリアタゴヤマ	192	久留里駅西2km	久留里	・	○	「愛宕山」、教習所の北
46	音信山	オトシレヤマ	186	高滝駅西北西2.5km	上総横田	・	○	上総久保駅から登る
47	城山	シロヤマ	183	富浦駅北東3km	那古	・	○	道の駅おおつの里から登る
48	野見金山	ノミガネヤマ	180	上総鶴舞駅東南東4km	鶴舞	△	○	公園の南、ゴルフ場
49	大多喜高塚山	オオタキタカヤマ	179	東総元駅西南西1.5km	大多喜	△	○	「高塚山」
50	江見大塚山	エミオオツカヤマ	175	江見駅西2km	安房和田	△	○	「大塚山」、踏跡あり

1) 選定基準

○:あり、×:なし

20150612

- ①標高の高い山(小数点以下四捨五入) ②地元で親しまれている山 ③由緒のある山

2) 選定経緯

- ①『日本山名総覧 1万8000山の住所録』(武内正著/白山書房/1999年3月10日第1刷)掲載の山を標高順に選定

- ②歴史的な経緯を考慮して8山を入れ替え(追加)

- ③同名の山について、地元で呼ばれている地名などを冠付けして区別

クリーンハイク実施報告

自然保護委員会

2015年度クリーンハイクを下記のとおり実施しました。
参加・協力をいただいた、会・クラブの皆さんご苦労様でした。

記

- ・ 実施日 2015年5月31日（日）
- ・ 実施場所 鬼泪山周辺
- ・ 参加人数 6会 30人
- ・ 収集量 125kg（目算）

※ 自然保護委員会事前下見では、ゴミが少ないとの事であった。車両が入る道路沿いには、大型ゴミの不法投棄が目立っていた。車両の入らない登山道などはゴミが少なくっている。
鬼泪山周辺は、山砂採取の再開の問題も含めて、県連盟としても地元住民と協力して監視活動を続けていく必要を感じた。

「労山自然保護憲章」について

労山に「自然保護憲章」がある事を知らない会員も多くなっていると思います。
クリーンハイクの実施報告の付けたしとして、労山の自然保護憲章について簡単に報告します。

労山は創立（1960年）以来、自然保護問題に取り組みクリーンハイク（清掃登山）等を行なうと同時に、自然環境を破壊する開発行為等に反対して来ました。しかし、私たち登山団体にも組織的な問題もあります。オーバーユースも大きな一因です。ゴミや糞尿、登山道路のふみ荒らしなど、登山者自らが自然を傷つける行為を繰り返して来ました。

私たちは、登山を文化として継承発展させ、山岳自然と登山活動の共存をめざして「労山自然保護憲章」を定めました。（労山自然保護憲章より抜粋）

千葉県連盟は、2016年の創立50周年にむけて、記念事業に取り組んでいます。50周年事業の、重要な取り組みの一つとして「自然保護セミナー」を実施します。このセミナーは、千葉県連盟50年の歴史の中で特筆される取り組みに、県連の自然保護運動の大きな成果があります。

一つは、追原ダを建設中止に追い込んだこと。二つは、鬼泪山を山砂採取の開発から守ったこと。この取り組みに代表される、千葉県連の自然保護運動を学び、後世に語りついでいく事が重要です。

- ・ 実施日 2015年11月14日（土）13時より
- ・ 講師 鵜沢 喜久雄氏（元千葉県連自然保護委員長・ふわくHC名誉会長）
- ・ 会場 千葉市文化ホール・セミナー室（千葉市中央区）
- ・ その他、詳細は検討中です。ご意見・資料提供などをお願いします・、
千葉県連盟・ホームページ自然保護委員会への問い合わせまで。

2015 初級登山講習のまとめ

千葉県連盟・教育遭対委員会

去る6/6-7、西富士山麓の毛無山・金山沢及び本栖湖キャンプ場にて、主に各会の初級者を対象とした講習会を実施しました。

梅雨空を心配しながらの取り組みでしたが、2日間共何とか天候も持ち、参加は10会(*)で合計43名となり、充実した実技講習になりました。

*東葛山の会 千葉こまくさハイキングクラブ 松戸山の会 まつど遠足クラブ
ちば山の会 ふわくハイキングサークル 船橋勤労者山の会 茂原道標山の会
千葉アルパインクラブ かがりび山の会

本年度は、昨年の反省を踏まえて、遭対委員会の個人にのみ頼ることなく、遭対委員会のメンバーに加えて救助隊の協力を得る事で、多くの講師陣(10名)を形成して行う事が出来ました。

来年度は、下記の感想と指摘等を踏まえて、更に改善した取り組みを予定したく考えます。

- ・昨年よりも講習の流れがスムーズで有り、内容が充実していた。
- ・講習ルートは、他の人が少なく、適切な場所だった。
- ・初心者対象を明確にした事により、学ぶ意欲有る人が多く参加して、有意義だった。
- ・集合時間に遅れた会が有り、時間が足りなくなり、下山時間が遅れた。
- ・班別構成にしたが、登山が団子状態となり、班長の役割が不明確な事も有り、休憩や食事のタイミングが判らない人も多かった。
- ・夜遅くまで飲酒のグループが有り、不快を感じる人有り、改善を要する。



救助隊員による、ロープワーク講習会
繰り返し練習しないと、忘れます。



谷筋には、
季節感 あふれる
岩タバコの花

ワンコイン講習会報告

千葉県連盟 女性委員会

女性委員会は、恒例のワンコイン講習会を実施しましたので報告します。
ワンコイン講習会とは、「いつまでも、山登りを続けられる体力を」を目標に女性委員会
が実施しています。

講師は、おなじみの「荒井 美穂先生」です。

◆ 荒井先生は、6月6日（土）7日（日）に実施された、初級登山講習に一受講生
として参加しましたので簡単に報告します。

・6日は、毛無山の登山コースで実施した、ガレ場の通過訓練・ツェルトによるビバ
ーク法などを体験しました。この体験は、山の会等での講習会に役立つと思います。

・7日は、荒井先生の講習会を実施しました。登山には足裏のメンテナンス、足指の
働きの重要な事を強調し、有効なトレーニングの指導がありました。

また、登山で特に重要な体幹の強化トレーニングなどについても学びました。

（荒井先生は、6日の登山コースでの講習で、日頃使っていない筋肉を酷使したので、
本当は筋肉痛などがあったと思います。しかし、全く感じさせずに講習を実施したのは
「さすが、ですね」

◆ 第9回ワンコイン講習会報告

6月21日（日）に、8会34目の参加で、船橋市西部公民館で実施しました。

「正しく学ぶ・楽しく学ぶ」をスローガンに毎年実施しています。

荒井先生の講習会には、常連者が多く最近では男性の参加も多くなっています。

各会の総会・記念イベントなどで、荒井先生のミニ講習会の実施を検討して下さい。



ゆう便りNo.13

石松 卓也（船橋勤労者山の会）

1. 日時：6月20日（土）～21日（日）
2. 参加：14名
3. 活動場所：南相馬市・小高区
4. 宿泊場所：川俣町・峠の森キャンプ場
5. 活動内容：個人宅の家財道具運びだし、庭の草刈り&庭木の剪定

6/21(土)・22(日)の両日、福島県南相馬に総勢14名で支援活動に出向きました。

初日、ボランティア・センターのミーティング冒頭、現在避難指示解除準備区域に指定されている南相馬市小高区も、2016年春の避難指示解除に向けた帰還準備が加速していくことが見込まれるとの説明があり、多くの困難な課題を抱えながらも、福島第一原発周辺地区も新たな段階に進みつつあることが感じられました。続くマッチングでは、個人宅内家財一式の搬出と廃棄に向けた分別、及び庭の草刈と樹木の伐採・剪定が、今回のタスク。

ご都合によりお休みとなった報道部長兼主筆の長池さんに代わり、今回は先月名ばかりの仙台駐在を切り上げた船山/石松よりご報告させていただきます。

【6/21(土)】

ボラセンから程近い、割り当てられた現場に移動。

遠方より立会われた依頼主の方から指示を伺い、搬出作業に着手。震災後4年の歳月を経て運び出される品々には、どれもご一家の歴史が詰まった物ばかり。わけても、大きな揺れに見舞われた2時46分を少し回ったところで運針を止めた柱時計には、地震発生直後から時が止まった福島の実



を見る思い。

初日の作業概要としては、家屋内の



略全ての物を搬出し、家具等の粗大系を除き、ボラセンで“トン袋”と称される特大土のう袋的なフレコンパック(L:1m×W:1m×H:2m)に、可燃、不燃に分別を行う。恐らく形の面で融通無碍な“粉もの”の保管・運搬が主要用途となる容器に、“形ある物”を詰めていく作業は結構難しく、四隅に大

きな空隙を生じたり、歪に折れ曲がったりと、各人四苦八苦の図。上部を縛られた純白のオブジェは、詰め手の性格や感性も映し出され、夫々個性的な出来栄え。

それにつけても、読書家の家系か大



量の蔵書類や、衣類・食器類も整然と保管されており、思いの込められた品々を処分せざるを得ないご家族の心境が察せられ、作業する側も身体面に加えて、精神的にもかなり応えた一日となった。

初日の作業を終え、“はらまちユッサ”で汗を流し、川俣町の峠の森キャンプに移動。テント場の展望台からは福島盆地を隔てた吾妻連峰に、今まさに沈む夕陽を望むことができ、とても感動的な光景。

労働のご褒美の美酒・美食に話も弾み、美声？とは言い難い高歌放吟をもBGMに、今後の支援活動のあり方について熱く議論。しかしながら、常と同様、酔いとともにつしかな話は迷走系となったが、一同福島への支援を“ぶれずに続ける”ことを確認した(ように記憶している…)

【6/22(日)】

翌朝、快適な泊場を提供してくれたキャンプ場から再び南相馬に戻る。

今日の割り当ては、想定どおり前日の継続作業。一部敷地外に越境しているフレコンの積み付けと、庭の草刈り&樹木の伐採。

前者は、ユニックを借用でき、有資格者2名によるプロの仕事で、かなり型崩れしたフレコンも姿勢を矯正された上で整然と並べられ、昨日とは見違える程の片付き様。

伐採・剪定班も、太い木の伐採に苦労しつつも、約2時間の作業で、鬱蒼としていた庭もさっぱりと明るい感じに変身。

雨が本降りとなる前に、作業を終えることができ、帰路につく。車中は往路に続き慰労モード。岩本さんのご配慮に深く感謝。復路も守谷SAで下していただき、とても助かりました。



迷走系の前夜の議論はともかくとして、他の被災地とは異なる道程を今後進まざるを得ない福島の地には、未だ多くの接点を見いだせるように感じられた二日間となりました。

NPO 法人ちば山ゆう 南相馬支援報告

ちば山の会 寺崎 眞理

- ・日時 2015.6.21 (土) ~21 (日) 前夜発 1泊 2日
- ・場所 福島県南相馬市小高区本町 南相馬市ボランティア活動センター
- ・参加者 14名
- ・作業内容 個人宅片付け、庭の樹木伐採・除草

6月20日(金) 夜半千葉出発

- ・常磐道SAで「ゆう」の面々と落ち合う。

テント泊。野口雨情の詩が刻まれた石碑が彼方此方に置いてある。SA テント泊は車の音が煩いと思いきや、走行も少なく、意外と静かだった。

- ・常磐道走行

途中、放射線量が多い箇所あり。2輪車の走行が禁じられている区間も。

高速道路を降りてからは、ロープで囲ってある除染中の土地が此処彼処に見られ、削り取った土の入った大きな黒い袋は何段にも積み重ねられ、数えきれない。すれ違う車が前回の支援時に比べ多くなったとは言えるものの、どの車もヘルメットを着用した人々が乗っており、異様だ。帰宅困難地域では菅井さんの放射線量測定器の数値がぐんと上がった。道路は線量がさほど多くなくても、くさむらに入ると高くなる。農家では荒れた家屋はほとんどなく、庭木も枯れることなく手入れされていた。しばしば帰宅されているのだろうが、信号が替わり、外灯が付いても、畜舎が空っぽで、日中人っ子一人いない集落は不気味な感すらする。

21日(土) ボランティア活動開始(家の中の片付け)

- ・南相馬市ボランティアセンターに集合

南相馬は3月に、避難指示解除準備区域指定が解除され住めるようになるそうだが、町は突然人がいなくなったままの姿だ。どれだけの人が戻ってくるのか。

ボランティアセンターに多くのグループが集まっていた。京都・大阪ナンバーの車も見られ、外国人のグループも…、幅広く活動が継続されている。

対象の家は家主さんが待っていてくださり、「戻ってくるつもりですので…、(家の)中を空けたい。みんな処分します。捨ててください。」とおっしゃった。淡々とした感じの中に、無念さや持っていくどころのない憤りをぐっと堪えているのが窺え、何とも切なかった。

家はまだ新しいものの、地震で窓ガラスが割れて雨風が当たっていた箇所は腐っており、家具等が倒れたり、引き出しが飛び出したり…、いろいろなものが散乱し、足の踏み場もない状態だった。

短時間で最低限必要なものを取り出すのも大変だっただろう。住人のいない家はネズミの糞が一杯で、荒れ放題に荒れていた。

帰宅が許されて、一度お母さんを連れてあまりの姿に寝込んでしまい、寝たきりの状態だとのこと。

専門書、学習ノート・参考書類、文学・歴史・美術関係、百科事典等々の書籍、衣類、布団類、家具、食器類等々、一日がかりで家から運び出したものは、白いとてつもなく大きな袋に詰めていったが、十数袋でも入りきらなかった。

始めのうちはこれだけの荷物が一日で片付くものだろうかと思っただが、天候にも恵まれ、総勢14名、数の力で夕方終了時間までにはどうにかなった。

空っぽになった家の中で、家主さんがぼそっと「こんなにきれいにしてもらって…」と呟かれたのが印象的だった。

・宿泊「峠の森キャンプ場」

新田川温泉で汗を流し、夜は大いに食べ、大いに飲んで一日の疲れを取った。

広々としたキャンプ場で見た日没の美しいこと。吾妻連峰がうっすらと見え、幻想的だった。

キャンプ場はよく手入れされていて快適だったが、まだ市民は使用できない。原発事故さえなければ、多くの家族や団体が利用していただろうに…。ばらばらになったどれだけの市民が、また利用できるようになるのだろうか。

22日(日) 庭の樹木の伐採・除草

作業は午前中で終了予定だが、庭は足が踏み入れられないくらい草茫茫。おまけに家主さんが不在で電気は使えず、草刈り機以外、手作業だった。昨日と打って変わって蒸し暑く、みんな汗まみれ。しかし、やはり数の力で生い茂った木々は切られ、高く伸びた草は刈り取られ、刈り取った枝や草の山はどんどん大きくなっていった。

隅から隅まで丁寧に刈り取られ、見違えるような広々とした庭が出現した。家主さんのびっくりした嬉しそうな顔を想像するとこちらも嬉しくなってしまう。

・帰路

途中で寄った飯館村。新しいだれもない村舎・ケアホーム、お地蔵様の頭を撫でると聞こえてくる村歌など、これからの村の姿を打ち出した矢先の避難で、村長はじめ、住民の無念さはいかばかりか。

途中途中で線量を測ったり、除染の様子を観察したり、本来なら青々とした苗が風にそよぐ田圃や作物の植えられていない畑にため息をついたり…、測った線量の多さに原発の怖さを改めて痛感した。

(文責：寺崎)



県連たより

千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

- ◎ 県連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX： 043-306-1190
Eメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分
(県連事務所に常駐者はいません)

- ◎ 千葉県連ホームページ
<http://www.cwaf.jp>
県連盟への問い合わせは、上記ホームページ
事務局への問い合わせまでお願いします。
- ◎ 加盟会会員の事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax：043-271-4704
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず
送付の事。
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
機関紙委員会・広木 国昭
danphiro@zpost.plala.or.jp
- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東日本大震災・支援金振込み先
口座番号：ゆうちょ銀行
00240-8-98419
加入者名：NPO法人 ちば労山ゆう
代表者 吉田 哲治
- ◎ その他、県連盟、全国連盟への、
ご意見・問い合わせなどは・広木まで

NPO法人「ちば労山ゆう」

- 「ちば労山ゆう」とは、東日本大震災を支援するために、千葉県勤労者山岳連盟を母体として活動を始めた、被災者支援NPO法人です。
- ◎ 「ちば労山ゆう」への入会は千葉県連盟ホームページから常時入会出来ます。
 - ・入会申し込みは
<http://www.cwaf.jp/contact/10-2/>
 - ・「ちば労山ゆう」への問合せは
<http://www.cwaf.jp/contact/09-3/>

 - ◎ 支援活動日のお知らせ
 - ・7月11日・12日（石巻）
 - ・9月12日・13日（福島）
 - ◎ 支援物資販売活動について
皆様のご協力により、交通費の補助に役立っています。
引き続きご協力をお願いします。
三陸・気仙沼直送の支援物資は「おさしみわかめ」「さしみこんぶ」「くきわかめ」「すき昆布」「とろろこんぶ」
牡鹿半島の「塩蔵わかめ」
常時在庫あります。
宅配も、相談下さい。

支援物資に関する問い合わせは
下記アドレスに連絡を！

danphiro@zpost.plala.or.jp



県連活動予定表

7月		行事予定	8月		行事予定
1	水		1	土	
2	木		2	日	
3	金		3	月	
4	土		4	火	
5	日		5	水	
6	月		6	木	8月は、千葉県連は夏休みです。県連行事は、全てお休みします。日頃、時間をさいて、県連活動にご協力をいただいている皆さん、8月は、会・クラブの仲間と山行を楽しんで下さい。
7	火	県連役員会	7	金	
8	水		8	土	
9	木		9	日	
10	金		10	月	
11	土	NPO支援活動	11	火	
12	日	〃	12	水	
13	月		13	木	
14	火		14	金	
15	水		15	土	
16	木	県連理事会	16	日	
17	金		17	月	
18	土		18	火	
19	日		19	水	
20	月		20	木	
21	火		21	金	
22	水		22	土	
23	木	ウィークデイ山行	23	日	
24	金		24	月	
25	土		25	火	
26	日		26	水	
27	月		27	木	
28	火	NPO役員会	28	金	
29	水		29	土	
30	木	50周年実行委員会	30	日	
31	金		31	月	

発行者：千葉県勤労者山岳連盟
 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
 レジデンス幕張台 101号室
 TEL・FAX 043-306-1190 (事務所に常駐者はいません)
 発行責任者：吉田 哲治 編集責任者：広木 国昭
 問い合わせ先：千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ